

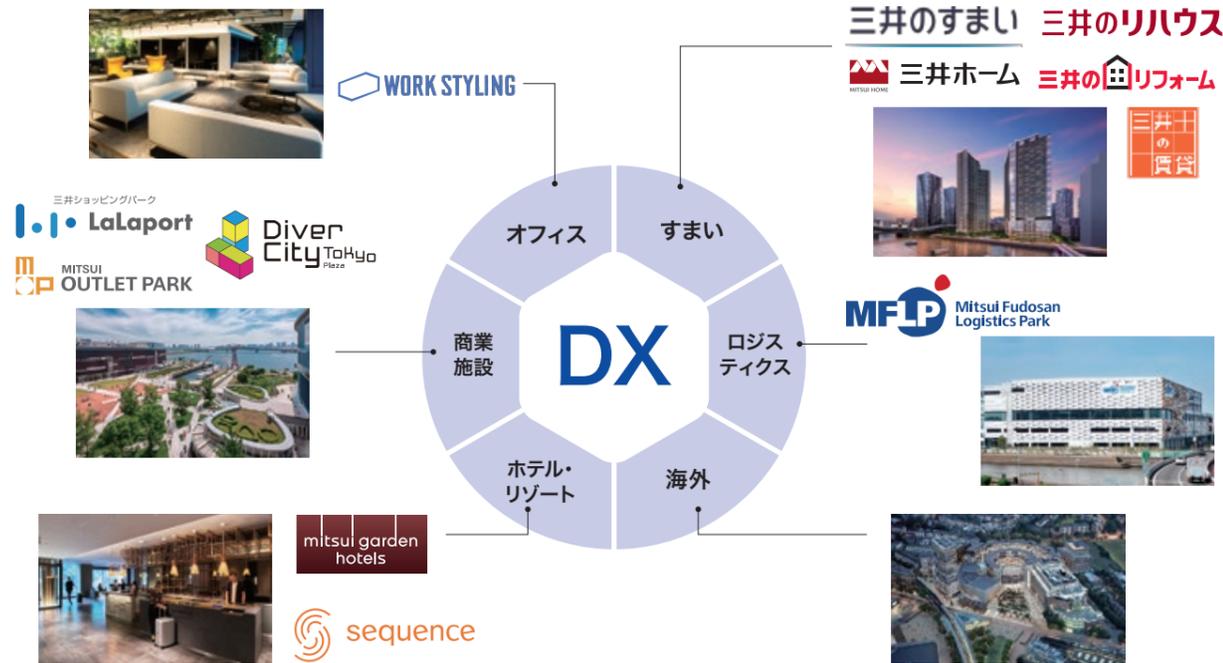
CLOSE UP DXの取り組み

全事業でDXを推進

新型コロナウイルス感染症の影響によって、人々の働き方・暮らし方においてもデジタルトランスフォーメーション(DX)が加速しています。

三井不動産は、グループ長期経営方針「VISION 2025」の

なかで、「テクノロジーを活用し、不動産業そのものをイノベーション」することを掲げています。その方針のもと、すべての事業でDXによるビジネス変革を推進しています。



DX事例1 オフィス

顧客の新しいワークプレイスづくりを支援

多様化する働き方に応える法人向けシェアオフィス「ワークスタイリング」では、2次元コードを用いた非接触システムで入退館ができ、1人用個室には音環境やプライバシーに配慮したサウンドマスキングを完備しています。

また個室特化型の「ワークスタイリングSOLO」では、コンシェルジュによるオンラインサポートが受けられるなど、ICTを活用したサービスを拡充しています。



ワークスタイリングのWebページから手軽に会議室・個室を予約可能なLINEミニアプリを開発



個室特化型サテライトオフィス「ワークスタイリングSOLO」



オンラインコンシェルジュ

2次元コードで入退室管理

DX事例2 ロジスティクス

ICTを活用した物流ソリューション

物流業界では、EC(電子商取引)の隆盛によって需要が高まる一方で人手不足が深刻化しており、自動化・効率化が必須課題となっています。三井不動産では、物流施設「MFLP船橋・&GATE」内に、物流ICT体験型ショールーム「MFLP ICT LABO 2.0」を開設。入荷から出荷まですべての物流業務フローを自動化した業界初の「フルオートメーション物流モデル」を展示し、倉庫内物流の自動化・省人化ソリューションを提案しています。

※ 物流施設を開発運営するデベロッパーがICTに特化した体験型ショールームを設置することは初の取り組み

物流ICT体験型ショールーム「MFLP ICT LABO 2.0」の特徴

- “業界初”人の手を一切介さない「フルオートメーション物流モデル」を展示
- 日本での常設展示は初めてとなる搬送ロボットなど約30種類の最先端物流ICT関連機器を展示

ICT LABO 2.0



物流ICT体験型ショールーム「MFLP ICT LABO 2.0」



無人フォークリフトシステム

ピッキング作業を行う搬送ロボット

DX事例3 ホテル・リゾート

最新ICT技術を活用した次世代型ホテル「sequence」

非接触・非対面へのニーズが高まるなか、三井不動産が開発するホテルブランド「sequence」では、顔認証だけでチェックイン・アウトができるようにしました。

ゲストはアプリ上で事前登録を行うことで、顔認証・非対面でセルフチェックインができるほか、部屋や館内施設への入

室、宿泊者専用「セルフクローク」の開閉もすべて顔認証で行うことができます。

なお、顔認証ひとつでチェックインから鍵の開錠まですべて行える施設は日本で初となります。



レセプション



顔認証チェックイン

客室イメージ



客室入室時顔認証

「sequence MIYASHITA PARK」外観